

一般社団法人

沖縄県公認心理師協会

入会のご案内

沖縄県臨床心理士会は2020年4月1日に

一般社団法人 沖縄県公認心理師協会に移行しました

■ 入会資格

- 協会の目的に賛同するもの
- 公認心理師または臨床心理士の資格保有者
- 沖縄県に在住のもの

■ 年会費

年会費 5,000円

一般社団法人

沖縄県公認心理師協会

入会のご案内



協会の3つの目的

- 国民及び沖縄県民の心の健康の保持増進に寄与
- 「公認心理師」「臨床心理士」の資質と技能の向上
- 会員の権益の保護充実を図る



入会のメリット

- 各種委員会への参加を通し会員同士の交流や情報交換の機会が得られます
- ニュースレターが配信されます
- 研修会等・自己研鑽の機会が得られます
- 本協会主催の研修会等に参加できます
- 会員専用ページ「研修案内」「求人情報」その他情報の閲覧ができます

各委員会について

沖縄県公認心理師協会では会員の資質と技能の向上のため、以下のいずれかの委員会に参加していただいています。専門職としての幅や領域を広げる上でも、2つ以上の委員会への参加をお勧めします。下記以外にも各種活動等ありますので、入会后情報ご確認の上、積極的にご参加下さい。

医療保健委員会

精神科病院・心療内科クリニックで活動する方のみならず、HIV、緩和ケア、周産期、糖尿病などの慢性疾患、不妊治療などに関わる心理師も増えています。また、職場での職員に対するメンタルヘルス関連に携わることも増え、多様な動きが求められています。現在、医療保健委員会では、HIVワーキンググループとリエゾン心理師ワーキンググループ及び病院心理士の会を企画運営しています。医療保健領域で働く方や関心のある方はぜひご参加ください。

子どもの育ち支援委員会

主に子どもの発達臨床に携わる会員で構成されています。母子保健領域での相談、保育所等への巡回相談、療育施設における相談、特別支援教育に関する相談、児童精神科等での相談、社会的養護に関する相談などを通して、子どもの育ちを支援しています。また周産期施策の充実に伴い、この時期から親子に携わる会員も増加しています。皆様のご参加をお待ちしています。

産業組織委員会

当委員会では公的機関による複数の委託事業(教職員のメンタルヘルス、学校現場でのコンサルテーション、惨事ストレス関連等)に関わり、多くの会員が現場で活躍しています。産業組織心理臨床に関する勉強会も年に2～3回行っており、労働者のメンタルヘルスケアについて知識の向上と職域の拡大に繋がるよう努めています。

学校臨床委員会

スクールカウンセラーなどの教育領域で勤務されている方、学校臨床に興味・関心がある方のご参加をお待ちしております。近年は、いじめ、不登校対応のみならず、事件・事故・災害後の緊急支援や、いじめ重大事態への対応など、求められる活動が増えています。年に3回程度、委員会研修を開催し、研鑽、交流の機会としています。一人勤務の多いスクールカウンセラーの方々、是非ご参加ください。

被害者支援委員会

被害者支援活動は、社会から大きな期待を寄せられる公認心理師の仕事の一つです。本委員会では、様々な場面で被害に遭われた方への支援のあり方を検討したり、その活動のサポートを行います。被害者支援と災害対策の二つの部門からなります。

被害者支援

被害者に対するこころのケアは心理師であればどの職場にいても必ず関わる活動です。活動内容は犯罪や事故後の支援、DV、ハラスメント、いじめ被害などの支援があります。

災害対策

災害で被災された方々への支援や災害対策関連研修をしています。災害支援に特別な能力は必要ありません。多くの会員の方に参加していただくことが力となります。皆様のご協力をお待ちしています。

司法・犯罪領域委員会

司法・犯罪分野は公認心理師が働く主要5分野の1つに挙げられており、近年では法的支援と心理支援の連携も重視されるようになってきています。司法・犯罪分野を主たる職域とする方は多くないかもしれませんが、他の委員会との掛け持ちは自由ですので、こうした分野に関心のある方のご参加をお待ちしています。